

TO 講習会 参加報告書

令和4年7月20日

報告者 二宮 光司

この度参加しました、TO 講習会について報告します。

なお、この報告書が、愛媛県バスケットボール協会ホームページ等に掲載されることを了承します。

講習会名 (大会名)	全国トップリーグ担当TO実技研修会 (Wリーグ サマーキャンプ)
参加者 (報告者)	(報告者) 二宮 光司 (所属カテゴリー) TO
期 日	令和4年7月15日から令和4年7月16日
会 場	高崎アリーナ
講 師	JBA 暫定 TO インストラクター (河野佐紀子氏、八丁茉莉佳氏、和嶋陽一氏、古見高広氏、遠藤幸輔氏、瓜田真司氏、土屋友由氏、榊平勇輝氏、中澤広一郎氏、堀口拳氏、板垣 善久氏)
参加者	各都道府県トップリーグ TO 担当者 (B1・B2・B3・Wリーグ)
報告	<p>○7月6日に Zoom を使用した事前研修が行われ、これからのトップリーグTOを取り巻く環境の変化や、それに伴う注意事項の話があった。また、TOマニュアルの作成に伴い、「知っている」から「できる」へのステップアップが必要となるなどの話が合った。</p> <p>○実技研修 本研修の意図として、</p> <p>①マニュアルに則ってTO業務を行うことで、全国の誰とその日にクルーを組んでも不都合なく業務が全うできるようになること。</p> <p>②スコアラ系、タイマー系の2人の間でコミュニケーションの重要性を理解すること。 が挙げられているため、クルーは全国各地から集まった皆さんと組むことになった。また、自身の業務だけでなく、ペアを組む業務を知ることでコミュニケーションや連携の大切さを実感できるように、希望業務とそのペアとなる業務も担当することになった。</p> <p>ゲーム① 7月15日17:00～(前半担当) 担当業務: SR(スコアラ)</p> <p>ゲーム② 7月15日19:45～(後半担当) 担当業務: ASC(A・スコアラ)</p> <p>ゲーム③ 7月16日13:45～(後半担当) 担当業務: SR(スコアラ)</p> <p>それぞれのゲームを通して指導いただいた内容は大きく以下の点である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションの必要性 (どうしてしゃべるのか、何をしゃべるのか、なぜしゃべるのか、それによって何が予防できているのか) を理解した上で、TOマニュアルのコミュニケーション例を実践していくことが重要である。単に機械的に情報をアウトプットするのではなく、自分が(クルーのペアは)何を把握できていて、何を把握できていないのかをお互いが知ることでカバーや視野の分担ができ、ヒューマンエラー(人によるミス)を減らしていくことができる。 ・同時刻入退場を起こさないために、交代のタイミングによってスコアラ系 (特にAスコアラ) が交代して出る (タイムアウトの場合は出る予定になっている) プレーヤーの番号は何番

	<p>なのか、交代してベンチに下がったプレーヤーは何番なのかをきちんと記録しておくこと。特にたくさんのプレーヤーが入れ替わる場面や、タイムアウト、フリースローなどによって時計が止まっている時間が長い時などに注意が必要であること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複数の事象（得点、ファール、交代）が同時に起きたときこそ、慌てずに起きた順序にしたがって処理（コミュニケーションも含む）していくことでミスを防ぐことができること。
<p>所感</p>	<p>今回、全国で TO 委員会が正式に動き始め、その最初の研修会に参加させて頂いたことに大変感謝しています。B リーグがスタートし、県内でのホームゲームで TO を行っていく中で、マニュアルや手順といったものをあまり意識せず業務に当たってきました。しかし、正式な TO マニュアルができ、その意図や目的を知っていくほど、このマニュアルをより理解し、実践できる力が必要になると痛感しました。「わかる、知っている」から「できる」にレベルアップしていくために、自己の技能向上はもちろん、クルーとして TO に携わるみんなで取り組んでいくことがより重要になると感じました。今後は、様々な機会を通して、トップリーグに関わる TO の技術向上だけでなく、新しいバスケットボールへの関わり方の 1 つとして、テーブルオフィシャルズの発掘、育成にも取り組んでいきたいと考えております。</p> <p>今回このような機会を与えていただいた JBA の皆様をはじめ、県協会の関係者の皆様にお礼を申し上げて、報告とさせていただきます。</p>

※ 原文のまま、ホームページ等に掲載されます。

※ 用紙が足りない場合は、各自追加してください。